

授業科目 性と生殖

【担当教員名】 中山 和美、山口 典子		対象学年	2	対象学科	看護（助産師コースのみ必修）
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 人の性と生殖についての概念、発生の機序、形態と機能について学ぶ。また、妊娠成立の機序、現在の生殖医療の実際、性に係る諸問題について学び、女性の一生における性と生殖をめぐる健康問題について理解し、相談・教育・援助できる能力を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人の性と生殖の概念を述べるができる。 2. 人の発生と性分化について説明できる。 3. 生殖器の形態と構造、生殖機能を説明できる。 4. 妊娠成立の機序について説明できる。 5. 生殖補助医療の実際を理解する。 6. 女性のライフサイクルにおける性と生殖をめぐる健康問題を説明できる。 7. 思春期のカウンセリング・ピアエデュケーションの意義を理解し、性教育のあり方を考える。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間の性と生殖の概念、人間の性行動			1	講義
2	生殖器の形態と機能、生殖機能			2.3.4	講義
3	妊娠成立の機序、胎児胎盤機能 一家族計画			3	講義
4	出生前診断と母子感染、感染症			4	講義
5	生殖に関連する疾患			6	講義
6	不妊症と生殖補助医療			5.6	講義
7	ピアエデュケーション			7	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産学講座2 基礎助産学2 母子の基 礎科学	我部山キヨ子編 他	医学書院	2010
参考書		必要に応じ随時提示します。			
その他の資料					
【評価方法】 レポート 50 点 試験 50 点			【履修上の留意点】 自分の体の仕組みを知ること、また性にまつわる問題を考究して欲しい。		